カリキュラム・マップ（全体計画・年間指導計画一覧表）

校番 【 27 】 【 春日 】小学校 第【 6 】学年

育成する力(21世紀型"スキル&倫理観) 課 論 コ 粘 S 情	課題発見・解決力	論理的思考力	コミュニケーション能力	粘り強さ
めざす子ども像 （21世紀型"スキル&倫理観"を身に付けた当該学年生徒の姿）	自ら問いを見つけ，見通しをもって調べたり，考えたりしながら解決することができる。	因果関係を整理し，筋道を立てたり，根拠を明確にしたりしながら考えることができる。	多様な考えを受け入れながら，自分の考えを伝えることができる。	自分の役割を自覚し，役に立つ喜びを感じながらやり抜くことができる。

学力調査の課題の改善に係る単元等

各教科等	各教科等で重点的に育成する力	4月 単元名	時	5月 単元名	時	6月 単元名	時	7月 単元名	時	8月 単元名	時	9月 単元名	時	10月 単元名	時	11月 単元名	時	12月 単元名	時	1月 単元名	時	2月 単元名	時	3月 単元名	時	時数	1学期	2学期	3学期	計
各教科 国語	(1)日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に親しんだ理解したりすることができるようにする。 (2)筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い，日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げることができるようにする。 (3)言葉がもつよさを認識するとともに，進んで読書をし，国語の大切さを自覚して，思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	つないでつないで一つのお話 《詩》準備 伝わるかな好きな食べ物 《物》帰り道 課 論 全国学力・学習状況調査 漢字の形と音・意味 春のいぶき	1 1 1 5 1 1 1	聞いて考えを深めよう 漢字の広場① 《説》笑うから楽しい 重《説》時計の時間と心の時間 課 論 [情報]主張と事例 公共図書館を活用しよう	5 1 1 5 1 1 1	文の組み立て [情報]情報と情報をつなげて伝えるとき デジタル機器と私たち 論 情	2 2 7	たのしみは 本は友達 天地の文	3 5 1	インターネットでニュースを読もう 情 いちばん大事なものは 夏のさかり	3 2	文章を推敲しよう 重《物》やまなし 課 論 [資料]イーハトーヴの夢 《詩》詩を味わおう 漢字の広場②	2 6 3 2 1	漢字の広場③ 熟語の成り立ち 秋の深まり みんなで楽しく過ごすために コ 論 [コラム]伝えにくいことを伝える 話し言葉と書き言葉	1 2 1 5 1 1	伝えられてきた文化 《説》鳥獣戯画を読む 発見日本文化のみりょく カンジー博士の漢字学習の秘伝	2 4 4 2	漢字の広場④ ぼくのブック・ウーマン おすすめパンフレットを作ろう 粘 冬のおとずれ 論 詩を朗読してしょうかいしよう 漢字の広場⑤	1 4 6 1 2 1	知ってほしいこの名言 日本の文字文化 重《説》「考える」とは 課 論 使える言葉にするために	2 2 6 1	日本語の特徴 大切にしたい言葉 コ 今私はぼくは 論	3 6 6	《物》海の命 漢字の広場⑥ 卒業するみなさんへ	6 1 4	140	45	58	37	140
書写		漢字の組み立て	2	・部分の組み立て方❶(三つの部分) ・部分の組み立て方❷	2 1	点画のつながり ・点画のつながりと読みやすさ	4	・点画のつながりと読みやすさ	2	・点画のつながりと読みやすさ	1	点画のつながり ・筆順と点画のつながり	4	文字の配列 ・用紙に合った文字の大きさと配列	3	・伝えるって、どういうこと？ ・ことば	1 2	[もっと知りたい]文字の歴史 書写だけたい（国語）	3 1	まとめ ・書きぞめ	1 3	・書きぞめ ・六年生のまとめ❶❷	1 3	・六年生のまとめ❶❷ ・今の思いを書き残そう	1 1	35	11	15	9	35
社会	1.わたしたちの生活と政治 2.日本の歴史 3.世界の中の日本 ①社会科の学習では、様々な社会的事象を通して、社会の様子や人々の活動の様子などについて理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の資料を通して、情報を適切に調べ、読み取る技能を身に付けるようにする。 ②社会的事象の特色や相互の関連、歴史や多様な見方などを考え、社会に生きる調整能力を通して、その時代に向けて自分一の問題の本質を捉え、判断する力、考えたことを表現・説明したことを結果した、それらを表に議論に向かうする事。 ③社会的な事象や歴史的な事実に対する学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会の一員として自覚する事。また、多角的な思考や理解を通して、自己の考えを深めるとともに、多角的な思考や理解を通して、自己の考えを深めるとともに、自己の考えを深めるとともに、自己の考えを深めるとともに